

公益社団法人 海津市シルバー人材センター  
令和元年度 事業報告

国内景気は、後退局面のなかで新型コロナウイルスの影響が拡大し、過去最大の下落幅を記録した。

雇用情勢では、有効求人倍率においては、岐阜県では全国平均を大きく上回る水準で推移していますが、高齢者の就業についてはまだまだ厳しい状況が続いています。

このような状況下において、当センターは設立以来、高齢者の就業機会を確保すると共に、高齢者の福祉増進に努めてまいりました。

令和元年度受託事業の受注件数は、前年度より微増の1,226件で、契約額においても前年度より236千円増の156,006千円となりました。また、会員数については、昨年度は21名という大幅な減でしたが、本年度も昨年度より6名減少し、365名となったものの、下げ止まり傾向がみられました。

また、労働者派遣事業の受注件数は2件増の13件で、派遣延人員が154人日減の3,706人日となり、前年度に比較して微減しました。

この結果、契約金額は179,169千円となり、465千円ほど前年度を下回りました。これもひとえに、今日までご支援をいただいた市民の皆さん、事業所の方々、行政のご支援の賜物と感謝しております。

センターを取り巻く環境は、依然厳しい状況にありますが、地域にとってますます求められる存在になってきていると思います。課題となっている会員の拡大や就業機会の開拓に引き続き取り組み、センターに求められている役割や使命を認識して更に信頼されるセンターをめざしてまいります。

以下、令和元年度の事業概要について報告します。

## 1. 事業実績

区 分	令和元年度	平成30年度	比 較
(1) 会 員 数	365名	371名	△6名
男 性	211名	220名	△9名
女 性	154名	151名	3名
(2) 受託事業受注件数	1,226件	1,219件	7件
公 共	72件	61件	11件
民 間	1,154件	1,158件	△4件
(3) 受託事業契約金額	156,006,167円	155,769,588円	236,579円
公 共	93,770,716円	95,085,633円	△1,314,917円
民 間	62,235,451円	60,683,955円	1,551,496円
内配分金	136,931,926円	139,628,739円	△2,696,813円
内材料費等	8,183,741円	9,216,365円	△1,032,624円
内事務費	10,890,500円	6,924,484円	3,966,016円

(4) 派遣事業受託件数	13件	11件	2件
公 共	5件	6件	△1件
民 間	8件	5件	3件
(5) 派遣事業契約金額	23,162,771円	23,864,933円	△702,162円
公 共	10,189,450円	10,333,112円	△143,662円
民 間	12,973,321円	13,531,821円	△558,500円
(6) 就業延人員	34,566人日	35,996人日	△1,430人日
就業実人員	329人	332人	△3人
(7) 就 業 率	90.1%	89.5%	0.6%
(8) 賛助会員数	19	19	0

## 2. 実施状況

### (1) 普及啓発事業

- ① センター事業をより深く理解していただくために、広報誌「いきがい」第16号（9月1日発行）を市内全戸に配布するとともに、海津市の広報紙（5月号、7月号、9月号、11月号、1月号、3月号）に有料広告を掲載、チラシ（10月）を市広報紙に折り込みし、新規受注等の開拓と会員の加入促進を図りました。
  - ・ 広報誌発行編集委員会 7月19日、8月2日、8月9日
- ② ホームページの掲載
 

携帯電話からもアクセスができ、会員募集から仕事の依頼手続き方法までを分かりやすく表示したホームページを開設しています。なお、ホームページの内容は、随時更新を行いました。
- ③ 市内各公共施設にセンターのPR用ポスターを掲示するとともに、海津市産業感謝祭においてPRブースを設けて普及啓発に努めました。

### (2) 安全・適正就業の推進

- ① 重篤事故を二度と繰り返さない為に、就業会員に対して安全意識の高揚に努めました。また、安全・適正就業委員会では、安全措置が不備な就業会員にイエローカードを発行する制度を導入しており、引き続きその啓発に努めています。さらに、巡回パトロールを実施して就業会員とともに安全保護具等の必要性を再確認しました。
  - 安全・適正就業委員会及び巡回パトロール
    - ・ 安全・適正就業委員会を3回開催  
6月19日、9月18日、12月18日、
    - ・ 巡回パトロールを3回実施
- ② 薬剤についての講習会を予定していましたが、中止としました。

### (3) 調査研究

発注者及び会員に対する意向調査（アンケート）を実施しました。

発注者	発送部数	400部	回収部数	168部	回収率	42.0%
会員	発送部数	365部	回収部数	181部	回収率	49.6%

### (4) 就業分野の開拓・拡大

より多くの会員が就業機会の提供を受けられるよう、新規事業の開拓及び就業率の向上を目指した結果、0.6%の増でした。

### (5) 相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象にした入会説明会を地区毎に実施しました。また、シルバー人材センター事務局の窓口では、随時、相談者に対して説明を行いました。

- ・ 平田地区 5月14日、8月13日、11月12日、2月12日
- ・ 海津地区 6月11日、9月10日、12月10日
- ・ 南濃地区 4月9日、7月9日、10月8日、1月14日

（開催場所 平田：やすらぎ会館 海津：ひまわり会館 南濃：ゆとりの森会館）

### (6) 社会参加活動の推進

- ・ 3月18日に計画していましたが、中止としました。

### (7) 研修・講習事業

- ① 役員研修 3月5日

剪定枝葉のリサイクル事業などの事業活動の参考にするため、活発に活動している公益社団法人甲賀市シルバー人材センター（滋賀県甲賀市）を訪問し研修を行いました。

### (8) シルバー派遣事業

会員の新たな就業形態の一つとして、シルバー派遣事業を積極的に推進し、事業の拡大に努めました。前年度と比較して受注件数は2件増え、派遣延人員も大きく増加しました。

- ・ 受注件数 13件（2件増）
- ・ 派遣延人員数 3,706人日（154人日減）

### (9) 要請活動

シルバー事業の更なる発展が図れるよう、支援と助成を要請しました。

- ・ 海津市長及び海津市議会議長への要請活動 9月4日

## (10) 職業紹介事業

公益社団法人岐阜県シルバー人材センター連合会の海津事務所として事業を実施。実績0件。

## (11) 会員の拡大等

総務企画委員会を4回開催し、本年度は特に地域班及び職群班について協議しました。その結果、令和2年度において、会員からいろいろなご意見を聴くための会議を開催することになりました。

6月26日、 1月29日、 2月19日、 3月25日

## (12) 会議等

### ① 社員総会

- ・ 定時社員総会 5月29日 海津農村環境改善センター

### ② 理事会

- ・ 理事会 4月26日、 6月12日、 8月9日、 9月12日、  
12月11日、 1月15日、 2月13日、 3月25日、  
(計 8回)

### ③ 会計監査

- ・ 30年度会計分監査 4月24日
- ・ 元年度会計中間監査 12月3日

### ④ その他主な会議（理事長・事務局長等参加）

- ・ 岐阜県シルバー人材センター連合会 事務局長会議  
5月22日、 9月24日、 12月9日、 （岐阜市）
- ・ 東海シルバー人材センター等連絡協議会総会（理事長・事務局長）  
6月6日～7日 （三重県鳥羽市）
- ・ 岐阜県シルバー人材センター連合会総会（理事長・事務局長）  
6月17日 （岐阜市）
- ・ 岐阜県シルバー人材センター連合会役職員研修（理事長・事務局長）  
10月11日 （岐阜市）

### <事業報告の附属明細書>

令和元年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、公益社団法人海津市シルバー人材センター定款第43条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。